

1 令和5年度 北海道白樺高等養護学校グランドデザイン



歴史と伝統の継承
・
SHINKA
(源化・進化・伸化・真価)

校訓
「自主 自主 自省」

学校教育目標
自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる
～ 自主・自立・自省の姿勢を身に付け、
青年期の人格形成を図る ～

目指す学校の姿
生徒にとって 「自主的・主体的に学習し、生きる力を育む」学校
保護者にとって 「信頼し、子どもの自立・社会参加を託せる」学校
地域社会にとって 「地域に開かれ、説明責任を果たす」学校
教職員にとって 「専門性を発揮でき、やりがいのある」学校

目指す教職員の姿
生徒理解の基、自主性・主体性を尊重する教職員
生徒・保護者・同僚と傾聴と対話する教職員
専門性向上のため、学び続ける教職員

基本指導観
「率先垂範」
「共汗協働」
「師弟同行」
「凡事徹底」

重点課題
○個に応じた指導の明確化・具体化
○自立活動の充実
○3観点（学習内容・評価）
○特別の教科道徳教育の充実
○キャリア教育の充実
○課題意識・問題意識・改善意識

育成を目指す資質・能力
○学んだことを社会生活で生かせる力（知識及び技能）
○課題解決や自己選択、自己決定ができる力（思考力、判断力、表現力等）
○職業生活・家庭生活等で適応できる力（学びに向かう力、人間性等）

職業学科としての目標
定職 100%（卒後3年間）
希望の就労 100%（卒後3年めど）

何ができるようになるか（学校教育の基本）
○社会自立
・働き続けるための勤労意欲、態度等
・良好な関係を築くためのコミュニケーション力
○生活自立
・自立した生活のための知識、技能、習慣等
・生活を豊かにするための余暇活動

何が身に付いたか（学校評価を通じた学習指導の改善）
○個別的教育支援計画
○個別の指導計画（通知表）
○寄宿舎の生活
○移行支援計画
○学習評価
○年度末反省
○教育課程の評価
○学校評価（教職員、保護者、生徒アンケート）
○PTA、学校運営協議会

生徒の実態
○発達障がい診断 約70%
○自閉症・情緒学級出身 約60%
○通常学級出身 約6%
○一般就労 約55%、福祉的就労 約45%
○一般就労を希望する生徒が多い
○自己理解・受容ができていない生徒が多い
○コミュニケーションを課題にしている生徒が多い
○情緒の不安定さを課題にしている生徒が多い

目指す生徒の姿
○自ら質問や相談をし、課題を改善・解決できる生徒（確かな学力）
○自己を理解し、相手意識をもてる生徒（豊かな人間性）
○体力の向上と生活習慣を整えられる生徒（健康・体力）

何を学ぶか（教育課程の編成）
○「体力づくり」「進路学習」「作業学習」
○カリキュラム・マネジメント
教科等横断的視点（教科等合わせた指導、教科別指導、総合的な探究の時間等）
○自立活動の充実
○特別の教科道徳の充実
○学びの保障

生徒の発達をどのように支援するか
○個別的教育プラン
一人一人に応じた指導、教育的ニーズ
○キャリア教育
良さ・可能性を伸ばす指導・支援、「つながる」「つなげる」

どのように学ぶか（教育課程の実施）
○主体的・対話的で深い学び
○学びの地図
○3年間で三種の作業学習を経験
○年2回の職場実習（2学年）
○年1回4週間の現場実習（3学年）
○年2回の労働週間（全学年）
○寄宿舎生活（寄宿舎生）

SDGsの視点
2 フードロス（残食軽減）
3 食育指導
4 キャリア教育、学びの保障
5 LGBTQ+、敬称徹底
7 節電・節給
8 希望の職業・職種、就労継続
15 木材（間伐材）の活用
16 人権尊重、安心・安全

実施するために何が必要か（指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働）
○効率的・効果的な指導組織体制の構築並びに専門性の向上
○保護者・関係機関、進路先との情報共有及び信頼関係のさらなる構築
○北広島市及び西部地区、学校運営協議会等と一体となり、生徒の教育活動の充実・拡大

安心・安全な学校
○人権尊重
敬称徹底、体罰・いじめの防止、相手意識
○言語環境
挨拶、敬語、適切丁寧な会話
○個性尊重
実態把握、合意形成、合理的配慮、傾聴・対話、自主性・主体性
○情緒の安定
自立活動、SCの活用
○危機管理・環境整備
防犯・防災対策、健康安全指導、交通安全、情報管理、施設設備対策、整理・整頓・清潔（清掃）
○SDGsの視点
○適正な財政処理、金銭管理

連携・信頼のある学校
○保護者や関係機関との連携
共に成長を実感、説明責任、PTA活動の充実、専門機関・医療機関等と情報共有
○組織的な業務推進
「かくれんぼ」の徹底、学舎の連携、夢面意識・目的意識
○進路指導の充実
自己（他者）の理解・受容、自己選択・決定、継続、経験・体験の拡大
○生徒指導・生活指導
個に応じた指導、集団・個別指導、自己指導能力、予防的生徒指導、食育指導の推進、
○ICT教育
活用、充実、機器・環境整備
○教職員の規範意識
職務規律の遵守、適切な言動・服装

開かれた学校
○地学協働
CS（学校運営協議会）の充実、北広島市（BP、地元産木材利用）、西部地区（清掃活動、行事参加、製品販売会、受注等）、NEXCO 東日本（積厚PA販売会、清掃活動）
○特別支援教育のセンター的役割
専任 Co、PT 派遣事業
○情報発信
HP、各種たより、公開授業研究
○学校見学
○交流及び共同学習
北広島高校、西部小学校、西部中学校、文教大附属高校、とわの森三愛高校
○学生ボランティア
部活指導

働きがいのある学校
○北海道アクション・プラン
健康で豊かな生活、教育の質の向上、学校開庁日（学校が設定する日）、定時退勤日、時間外勤務の縮減、コアチームの設置
○専門性の向上
研修充実、新たな研修制度、授業・生活指導の評価・改善・構築（PDCA）
○学校運営への参画
教員育成指標、校内人事の活性化、人材育成、業務の効率化・伝達
○人事評価シート（学校設定項目）
自己の「〇〇意識」、白樺のセールスポイント